
十日町市教育委員会 文化財課 年報 13

平成22年度（2010.4～2011.3）

十日町市教育委員会 文化財課

例 言

1. 本書は、十日町市教育委員会文化財課の平成 22 年度を中心とした活動記録である。
2. 本書の構成は文化財課の業務を大まかにⅠ．運営、Ⅱ．指定文化財、Ⅲ．埋蔵文化財、Ⅳ．その他の 4 つに分類した。
3. 本書の原稿は、文化財課職員がそれぞれ担当を決めて分担執筆し、末尾に担当者名を記した。
4. 提出された原稿は、できるだけ原文を尊重した。ただし、用字・用語、内容、表記など執筆者の了解をえて編集者が修正した箇所がある。
5. 本書の編集は石原正敏が担当し、石原俊、角山誠一、鈴木えみの協力を得た。
6. 文化財の調査・保護活動から本書作成までに、教育委員、文化財保護審議会委員、指定文化財の所有者・管理者の各位をはじめ下記の個人、団体、機関などからご支援・ご協力をいただいた。記して御礼申し上げる次第である。(順不同・敬称略)

阿部美記子 小川 和男 河崎 政治 小林 正和 田川 欣五 羽鳥 クニ

樋口 寿次 村山 和子 村山 宗一

NPO 笹山縄文の里 (有)アルケーリサーチ (株)大村建設 (株)茅葺屋根保存協会

(社)十日町地域シルバー人材センター (株)清水建設 (株)拓越 (株)十日町測量 (有)羽鳥建築

(有)ペンタラボ (有)星野建設 十日町市博物館友の会 十日町地域森林組合 十日町市農林課

新潟県十日町地域振興局 新潟県教育庁文化行政課 文化財建造物保存技術協会 文化庁

目 次

Ⅰ．運営

1. 文化財保護行政の現状と課題	1
2. 文化財保護審議会の経過	1
3. 予算と決算	3

Ⅱ．指定文化財

1. 重要文化財保存修理事業	4
2. 県指定文化財保存修理事業	6
3. 市指定文化財保存管理事業	6
4. 火焰の都整備事業	8

Ⅲ．埋蔵文化財

1. 発掘調査	10
2. 埋蔵文化財調査報告書作成事業	12

Ⅳ．その他

1. 博物館事業	13
2. 文化財資料の保存と活用	15

資料

1. 十日町市の指定文化財一覧	17
2. 文化財課 20 年の歩み	20
3. 埋蔵文化財関係データ	22
4. 文化財関係者名簿	24

I. 運 営

1. 文化財保護行政の現状と課題

文化財課は、「地域文化の向上に資するため、文化財の調査、研究、保存、管理の充実をはかること」を課の方針としている。平成 22 年度は、職員 8 名（博物館職員と兼務）、嘱託職員 1 名、補助員 4 名の体制で、①文化財保護調査事業、②文化財保存修理事業、③火焰の都整備事業、④遺跡発掘調査事業、⑤埋蔵文化財等調査報告書作成事業、⑥資料館等維持管理事業、などの事業に取り組んだ。各事業の進捗状況は別記の通りであるが、その現状と課題についてふれてみる。

平成 16 年 10 月の中越大震災により被災した国重要文化財の星名家住宅の保存修理事業が平成 22 年度末をもって終了した（4～5 頁）。総事業費 812,250 千円、事業期間 6 年という大事業であったが、所有者の星名四郎氏をはじめ、設計監理を担当された文化財建造物保存技術協会、工事を請け負われた（株）清水建設などのご尽力により、無事全うすることができた。県指定文化財である神宮寺観音堂・山門の茅屋根葺替工事も 6 年計画の最終年次が終了した（6～7 頁）。しかし、豪雪のため、平成 23 年 1 月に観音堂と山門の茅が一部抜け落ちる事故が発生した。雪消えを待って迅速に対応しなければならないと考えている。県指定文化財の赤谷十二社大ケヤキ樹勢回復工事も無事終了した。

火焰の都整備事業では、市史跡指定地の測量調査が平成 22 年度で全て終了した（8～9 頁）。用地交渉に向けた準備が整ってきている。また、NPO 笹山縄文の里や地域の関係各位のご尽力により、笹山史跡公園内に竪穴式住居 1 棟が完成した。平成 23 年度以降、笹山スポーツハウスをスポーツ振興課所管の施設から文化財課所管施設に移管して、笹山遺跡広場のひとつの施設として、「笹山縄文館」とする準備が進んでいる。

遺跡発掘調査事業では、清津宮峯遺跡（県営中山間地域総合整備事業）、貝野沢田遺跡（県道改良事業）、干溝東遺跡（国道 353 号バイパス建設事業）などの本調査のほか、19 件の試掘・確認調査を実施した（10～11 頁）。増加する発掘調査に適切に対処できるよう、職員体制の整備が急務である。

埋蔵文化財等調査報告書事業では、『野首遺跡発掘調査報告書Ⅰ＜遺構編＞』を刊行した（12 頁）。野首遺跡は引続き遺物編の編集作業を行っている。一方で、国道 353 号バイパス建設事業に伴って、平成 20～21 年度に本調査を実施した上屋敷遺跡・溝遺跡の調査報告書作成事業も進行中である（平成 23 年度継続）。昭和後半から平成前半にかけて圃場整備など諸開発に伴って発掘調査した市内の遺跡数は膨大な数にのぼる（第 18 表参照）。報告書未刊行問題に対処するためには、予算も時間も不足しているうえ、人手も絶対数が足りない。業務の外部委託を含め、抜本的な報告書刊行計画の見直しが必要と考えている。

資料館等維持管理事業では、松之山郷民俗資料館、川西文化財資料収蔵庫、中里文化財資料収蔵庫などの維持管理を行った。平成 23 年度以降、高倉ブナの家を川西支所地域振興課から移管し、高倉文化財資料収蔵庫とする準備が進んでいる。

以上のように、合併後 6 年が経過し、当市の文化財保護行政の課題は山積しているが、解決に向けて一步一步着実に取り組んでいきたい。（平野 勝）

2. 文化財保護審議会の経過

◆第 1 回 6 月 21 日(月) 13 時 30 分～15 時 30 分

《出席者》武田正史、丸山克巳、井上信夫、川村知行、宮沢孝美、鈴木榮太郎、佐藤喜一、村山詔平の各委員。星名寔、庭野政義委員欠席。事務局：平野、長津、石原、太田。

《内容》平野課長新任の挨拶に続き、武田会長の議長により議事進行。4 月からの事務局体制、職員紹介の後、21 年度の答申を受けた指定解除、新指定について、22 年度の文化財課事業計画、22 年度の

埋蔵文化財発掘調査状況と予定について報告。続いて市指定候補物件について、村山委員から「牧畑神社御神体」「堀之内阿弥陀像」「重地の道祖神」について事前の調査記録を踏まえ提案があり、次いで佐藤委員より、松之山小学校所蔵の「群馬図」、井上委員より「鶴沼池」「ヒナイイワシ化石」「坊主岩」「小牧社の大ケヤキ」「重地の大池」の提案があった。事務局より、森上遺跡出土の火焰型土器、干溝遺跡出土の縄文草創期の隆起線文土器を提案。審議の結果、次の審議会で、「堀之内阿弥陀像」「重地の道祖神」「重地の大池」「小牧社の大ケヤキ」「坊主岩」松之山小学校の「群馬図」のうち、可能な限り現地調査を行うことし、開催日は9月初旬を予定する。

◆第2回 9月3日(金) 13時～17時30分

《出席者》武田正史、丸山克巳、井上信夫、川村知行、宮沢孝美、庭野政義、鈴木榮太郎、星名寔、佐藤喜一、村山詔平の各委員。事務局：平野、長津、太田。

《内容》博物館前よりマイクロバスに乗車。車中にて、事務局より国宝借受希望とその対応について報告。その後、次の順路により市指定文化財候補物件の現地調査を実施した。

①田島・小牧神社の大ケヤキ、②堀之内阿弥陀堂内・阿弥陀如来像、③重地観音堂内・道祖神、④重地・重地大池、⑤松之山小学校 六曲一双「群馬図」屏風 伝雲谷等顔筆、⑥まつだい郷土資料館
最後のまつだい郷土資料館に於いて検討の結果を踏まえ、次回第3回の審議会に諮問する候補を選定することとする。

◇十日町市・津南町合同文化財研修会 11月17日(木) 9時30分～12時

会場 津南町中央公民館（文化センター）3階視聴覚室

内容 (1)講演 「仏像調査の重要性」 講師 仏像文化財修復工房 松岡誠一氏

(2)討論 指定樹木について

民具・古文書資料の保存整理について

◆第3回 12月16日(木) 13時30分～17時15分

《出席者》武田正史、丸山克巳、井上信夫、川村知行、宮沢孝美、鈴木榮太郎、佐藤喜一、村山詔平の各委員。星名寔、庭野政義委員欠席。事務局：平野、長津、石原。

《内容》平成22年度の埋蔵文化財関係事業実施状況と今後の予定について報告。その他23年度予算案に、笹山遺跡の学術調査関係費用を計上することについて、業務体制を含めて説明があった。

次に市指定文化財の指定について、①群馬図、②重地大池の2件について諮問した。①については、実物を前に川村委員から解説を頂いた。②については井上委員より解説を頂いた。3月開催予定の審議会に於いて答申を頂く運びとなる。

まつだい郷土資料館については十分な資料が揃っていないため、継続して調査することとなった。

◆第4回 1月19日(木) 午後2時30分～午後5時30分 於 十日町情報館

《出席者》武田正史、丸山克巳、井上信夫、川村知行、宮沢孝美、庭野政義、鈴木榮太郎、星名寔、佐藤喜一、村山詔平の各委員。事務局：平野、長津、石原、水落。

《内容》第3回審議会において、資料不足のため継続審議となっていたまつだい郷土資料館について、松代支所より依頼を受け調査をした山崎完一氏（一級建築士、設計専攻建築士（伝統建築保護修復））より報告を受ける。その後、審議の結果、市指定文化財としての十分な要件を具備しているとの意見で一致したので、事務局で3月の審議会で答申を受けられるよう、日程調整して諮問することとなる。

◆第5回 3月17日(木) 午後1時30分～午後3時30分に予定していた審議会は、3月12日未明に発生した長野県北部地域を震源とする地震による影響のため、延期することとなった。（長津 政勝）

3. 予算と決算

平成 22 年度の予算は、当初予算が昨年に比べ 24%マイナスの 55,821 千円となった。しかし、9 月補正で遺跡調査発掘事業費が 21,820 千円の増、12 月補正で 3,368 千円の増、3 月補正で 2,500 千円の減となり、補正後予算額は 78,509 千円となっている。明許繰越額は 14,460 千円である。

予算内容は大別すると(1)一般経費 (3,023 千円)、(2)文化財保護調査費 (4,171 千円)、(3)埋蔵文化財関係経費(45,162 千円)、(4)火焰の都整備事業関係経費(14,570 千円)、(5)文化財保存修理関係経費(8,436 千円)、(6)資料館関係経費 (3,147 千円) からなる。

(1)は経常経費で文化財保護審議会関係経費、嘱託職員報酬などである。(2)は文化財指定に係る調査のほか、指定文化財管理手数料、補助金などが組み込まれている。(3)は遺跡発掘調査事業、埋蔵文化財等調査報告書作成事業などである。(4)は火焰の都整備に向けた測量調査、土地購入、公園整備・修繕工事及び関連するソフト事業費である。(5)は国指定文化財の星名邸、県指定文化財の神宮寺観音堂及び赤谷の大ケヤキの保存修理事業の補助金である。(6)は資料館等の管理、車両関係経費などである。

(太田 喜重)

☆平成 22 年度予算

歳入予算 (決算見込)

(単位：千円)

※ 3 月 25 日現在

款 項 目					
節	説 明	当初予算額	補正額	補正後予算額	決算見込額
13 款 使用料及び手数料 1 項	使用料 7 目 教育使用料				
6. 民俗資料館入館料	20. 松之山民俗資料館入館料	100	0	100	103
14 款 国庫支出金 2 項	国庫補助金 5 目 教育費国庫補助金				
4. 社会教育費補助金	25. 遺跡調査遺物整理補助金	1,500	0	1,500	1,500
15 款 県支出金 2 項	県補助金 7 目 教育費県補助金				
1. 文化財費県補助金	20. 遺跡調査遺物整理補助金	375	0	375	375
15 款 県支出金 3 項	委託金 5 目 教育費委託金				
2. 埋蔵文化財調査委託金	5. 埋蔵文化財調査委託金	5,200	19,300	24,500	17,400
	15. 県営中山間地域総合整備事業 遺跡発掘調査委託金	11,400	0	11,400	11,400

歳出予算 (決算見込)

(単位：千円、千円未満切り上げ)

※ 3 月 25 日現在

節	説 明	当初予算額	補正額	補正後予算額	決算見込額
1. 報酬	文化財保護審議会委員・文化財調査研究員	2,935	0	2,935	2,858
2. 給料	一般職	145	0	145	145
7. 賃金	発掘調査遺物整理事業員・調査整理補助員 中里文化財資料収蔵庫維持管理作業員 文化財保護作業員ほか	3,202	2,053	5,255	4,976
8. 報償費	講師謝礼・指導者謝礼ほか	624	286	910	710
9. 旅費	費用弁償・普通旅費	304	△ 46	258	203
11. 需用費	消耗品費・燃料費・印刷製本費 修繕料・光熱水費	4,210	361	4,571	3,383
12. 役務費	通信運搬費・手数料・保険料	1,467	△ 76	1,391	1,270
13. 委託料	遺跡発掘作業委託・遺物整理事業 遺跡調査管理支援・地形等測量 遺物実測作業・土器復元作業 火災の都設計管理等委託・測量調査 施設等管理・除雪委託	23,040	17,432	40,472	37,857
14. 使用料ほか	借地料・発掘用重機賃貸料・圧雪重機賃貸料ほか	457	0	457	423
15. 工事請負費	公園整備修繕工事	3,355	250	3,605	248
16. 原材料費	遺構保存用原材料	10	0	10	0
17. 公有財産 購入費	土地購入費	7,000	0	7,000	—
18. 備品購入費		0	1,000	1,000	774
19. 負担金ほか	指定文化財保存修理事業費補助金 文化財保存修理補助金 文化財保存事業費補助金 信濃川火焰街道連携協議会負担金	8,703	1,428	10,131	10,047
22. 補償金ほか	立木補償料	350	0	350	—
27. 公課費	自動車重量税	19	0	19	15
合 計		55,821	22,688	78,509	62,909

Ⅱ．指定文化財

1. 重要文化財保存修理事業

(1) 重要文化財（建造物）星名家住宅主屋ほか7棟保存修理事業

平成16年10月に発生した中越大地震により被災した国の重要指定文化財（建造物）星名家住宅主屋ほか7棟の保存修理事業が、平成22年度末をもって完了した。

この事業は、文部科学省所管（文化庁）国宝重要文化財建造物保存修理国庫補助事業として、平成16年1月に星名家住宅所有者星名四郎氏から合併前の旧川西町を経由して申請され、翌17年2月25日付で文化庁の補助金交付決定を受けてスタートしたものであり、同年4月1日の合併により十日町市教育委員会文化財課の所管となり、4月25日付で星名四郎氏の委任による県及び市の文化財保護審議会委員、市行政関係者等で構成された重要文化財星名家住宅修理委員会（当時委員長 井口カズ子市教育長）が発足し実質的な事務事業が開始された。

当初計画されていた事業規模等は、つぎのとおり。

- ・全体事業期間 平成17年3月1日～平成21年12月31日
(全体工事期間～平成21年9月30日)
- ・総事業費 700,000,000円（ただし、平成16年度は350,000,000円とし、全額を翌17年度に明許繰越とした）
- ・事業費内訳
委託費 70,195,000円（設計監理業務：財団法人 文化財建造物保存技術協会）
工事費 279,416,000円（指名競争入札により決定：株式会社清水建設北陸支店）
事務費 389,000円
計 350,000,000円
- ・財源内訳
所有者 17,500,000円（事業費の 5/100）
国補助金 297,500,000円（事業費の85/100）
県補助金 17,500,000円（事業費の 5/100）
市補助金 17,500,000円（事業費の 5/100）
計 350,000,000円
- ・修理方針 主屋→屋根葺替及び部分修理（木部・壁・建具ほか）、米蔵（第1号蔵）・米蔵（第2号蔵）・質蔵（第3号蔵）→解体修理、宝蔵（第4号蔵）・家財蔵（第5号蔵）→屋根葺替及び部分修理（木部・壁・建具ほか）、脇中門→解体修理、雑蔵（第6号蔵）→解体修理、茶室→屋根葺替及び部分修理（木部・壁・建具ほか）、書斎→部分修理



文化庁小沼調査官による現地指導(H20.3)

上記明許繰越事業はさらに、土蔵6棟の解体工事を行った結果、修繕、改築、移築などが行われていたことが判明し、これを機に米蔵（第1,2号蔵）、質蔵（第3号蔵）、雑蔵（第6号蔵）と屋敷地の石垣についての現状変更を行って復旧整備をすることとなり、解体調査、古文書調査、資料整理等に係る時間を要し、平成18年度への事故繰越となった。

この現状変更の承認に伴い、全体事業費が95,700,000円増額し、795,700,000円となった。

さらに平成21年3月に事業期間を平成23年度末に延期する計画変更承認申請が認められ、平成22年4月に全体事業費を16,550,000円増額し、812,250,000円とした。

これは、各工事上の精査による費目の追加、数量変更、単価の見直しなどによるもので、特に平成20年度工事における主屋の耐震補強工事を追加したことや、石垣の現状変更工事等に伴う、各工事工程の見直しによる予定施工工事の繰り上げ、繰り下げによって調整が生じたことによるものである。

(単位：円)

年度	事業費内訳		財源内訳	
16-18	委託料	44,276,400	国庫補助金	175,922,000
	工事請負費	162,420,300	県補助金	10,348,000
	事務費	271,300	市補助金	10,348,000
			所有者負担	10,350,000
	計	206,968,000	計	206,968,000
19	委託料	31,556,700	国庫補助金	116,195,000
	工事請負費	105,045,150	県補助金	6,835,000
	事務費	98,150	市補助金	6,835,000
			所有者負担	6,835,000
	計	136,700,000	計	136,700,000
20	委託料	24,876,180	国庫補助金	102,000,000
	工事請負費	94,981,950	県補助金	6,000,000
	事務費	141,870	市補助金	6,000,000
			所有者負担	6,000,000
	計	120,000,000	計	120,000,000
21	委託料	39,308,430	国庫補助金	170,000,000
	工事請負費	160,611,150	県補助金	10,000,000
	事務費	80,420	市補助金	10,000,000
			所有者負担	10,000,000
	計	200,000,000	計	200,000,000
22	委託料	37,243,290	国庫補助金	126,294,000
	工事請負費	111,252,750	県補助金	7,429,000
	事務費	85,960	市補助金	7,429,000
			所有者負担	7,430,000
	計	148,582,000	計	148,582,000
計	委託料	177,261,000	国庫補助金	690,411,000
	工事請負費	634,311,300	県補助金	40,612,000
	事務費	677,700	市補助金	40,612,000
			所有者負担	40,615,000
	計	812,250,000	計	812,250,000

第2表 各年度の事業内訳

(2) 重要文化財（建造物）松茸神社本殿（保存管理）

事業主体 松茸神社保存会

事業量 本殿周囲及び屋根冬囲い

総事業費 174,520円

補助対象事業費 171,600円

財源内訳 受益者負担 9,520円

県補助金 85,000円（事業費の50/100）

市補助金 80,000円

事業実施期間 平成22年4月29日から平成23年1月31日

平成22年11月末で工事が完了し、12月10日に修理委員会による完了検査を行い、清水建設より所有者星名氏に引き渡しが行われた。なお、事業期間は平成23年3月末で、設計監理の財団法人文化財建造物保存技術協会による報告書の作成発行までとなっている。

6年間に及ぶ災害復旧事業であったが、この間、指名競争入札における不調問題に始まり、第2期工事では辞退による入札中止、あるいは平成17年冬の大雪、農協の旧借用地からの劇薬スミチオン発見とその処理問題、石垣等の現状変更にかかる再三にわたる文化庁との協議等々、予期しない問題に直面したが、星名氏をはじめ、文化財建造物保存技術協会、清水建設、県文化行政課等行政関係機関の尽力で乗り越えたことに感謝するものである。

(水落 辰美)



引渡しで挨拶する星名四郎氏（H22.12）

2. 県指定文化財保存修理事業

(1) 県指定文化財（建造物）神宮寺観音堂・山門茅屋根葺替工事

同工事は、平成 17 年度から 6 年計画で実施された。最終年次にあたる 22 年度は観音堂西面屋根の葺替工事を実施した。市は県費補助額の 1 / 2 を事業主体者に補助している。

工 事 名 神宮寺観音堂茅屋根西面葺替工事

工 事 期 間 平成 22 年 6 月 4 日～6 月 23 日

事業主体者 神宮寺

工事担当者 (株)茅葺屋根保存協会

地元茅葺職人 岡田一彦、佐藤哲、中島信、小林洋介

工 事 費 3,517,500 円

(内 訳) 新潟県 891,000 円

十日町市 445,000 円

事業者 2,181,500 円

(2) 県指定文化財（天然記念物）赤谷十二社の大ケヤキ保護増殖事業

同事業は、平成 22 年度の単年度事業として実施された。市は県費補助額の 1 / 2 を事業主体者に補助している。

工 事 名 赤谷十二社大ケヤキ樹勢回復工事

工 事 期 間 平成 22 年 8 月 2 日～9 月 30 日

事業主体者 赤谷区

工事担当者 十日町地域森林組合

工 事 費 2,084,000 円

(内 訳) 新潟県 1,042,000 円

十日町市 521,000 円

事業者 521,000 円

3. 市指定文化財保存管理事業

指定文化財の保存・管理のため、所有者・管理者に対し、保存・管理等に要する費用の一部を手数料として支払った。対象となる文化財は、清掃、雪囲い、除雪等が必要な屋外の物件である（17～19 頁参照）。また無形文化財のうち、伝承にかかる内容について補助金を交付している。

◆指定文化財件数

・国指定文化財 7 件

・県指定文化財 12 件

・市指定文化財 129 件（うち市指定地域文化財 26 件）

◆指定文化財管理手数料

・県指定文化財 3 件（126,000 円）

・市指定文化財 14 件（795,600 円）

合 計 921,600 円

◆指定文化財管理補助金

・市指定文化財 15 件（588,000 円）

（長津 政勝）



神宮寺観音堂西面



神宮寺観音堂西面

4. 火焰の都整備事業

この事業は、平成 11 年に笹山遺跡出土品が新潟県初の国宝に指定されたことを機に、出土地である笹山遺跡を中心とした地域を「火焰の都」として、その保護及び交流、体験の場の創出による活用を図ろうとする「火焰の都基本構想」が提案されたことに端を発している。平成 14 年にはその具体的実現を目指し「国宝館・火焰の都整備事業基本計画」が立案されるが、財政事情等から具体的な進捗をみることなく経過していた。市町村合併後の平成 19 年度より「国宝館・火焰の都整備事業」から「火焰の都整備事業」に改め、さらに平成 20 年度からは、国宝が新市住民の共通財産であることに立脚し、新市住民としての一体感を醸造するため、本事業を合併特例債事業として取り組むこととした。

なお、合併特例債適用事業として取り組む際の基本理念及び目的は、前述の「国宝館・火焰の都整備事業基本計画」を踏襲するものであるが、国宝館については当面、諸条件の整うまで凍結するものとし、事業の進捗に当たっては、主に中条地区振興会を窓口に、地元住民との協働作業を基本的なスタンスとしながら、内部的にはスポーツ振興課、農林課、当文化財課による連携を密にしてすすめてゆくこととする。

(1)平成 20 年度事業について

- ・笹山遺跡ガイダンス施設給排水衛生設備等改修工事
3,739,050円（（有）技工住設）

工事内容 十日町市民スポーツハウスの1階部分を改装し、男女トイレ（水洗）、展示休憩室及び外部給水栓等設置

- ・事業計画区域用地測量業務委託 1,890,000円
（株）十日町測量）

委託内容 市指定笹山遺跡ほか 測量範囲7,200㎡

- ・用地買収費（8,790,000円）、補償費（1,510,000円）は翌年度へ全額明許繰越

平成 20 年度事業は、財源確保のために笹山遺跡の県指定、さらに国指定を目指していたそれまでの方針を転換し、合併特例債を財源として、地元住民との協働作業により目に見える形としての事業展開が開始された年度である。具体的には、所管課であるスポーツ振興課との連携で市民スポーツハウス 1 階部分についての使用権限を文化財課に移し、地元住民主催のワークショップによる意見集約に基づいて内部改装を行い、地域振興活動のための拠点づくりに取り組んだ。このことは、従来の陳情型地域づくりの考え方から一歩踏み出し、参加型の地域づくりの考え方が醸成されつつあることを意味するのではないだろうか。

(2)平成 21 年度事業について



スポーツハウス内の展示

- ・笹山遺跡広場整備第1次工事 1,281,000円（㈲福島土木）
工事内容 笹山じょうもん市会場部分の造成
- ・笹山遺跡広場張芝工事 1,292,550円（㈱恒樹園新潟）
工事内容 笹山じょうもん市会場部分の芝張
- ・笹山遺跡広場整備第2次工事 1,186,500円（NPO法人笹山縄文の里）工事内容 竪穴式住居設置予定地の盛土及び笹山じょうもん市ステージ造成、盛土
- ・第2次笹山遺跡広場張芝工事 409,000円（NPO法人笹山縄文の里）



笹山遺跡公園をイメージしようと
地元主催でのワークショップ

- ・（合併特例債適用外 笹山遺跡サイン修繕工事計1,769,250円田順アート・(株)谷内製材）
- ・笹山縄文館における展示物の作成及び設計委託 委託金額 415,800 円（NPO 法人笹山縄文の里）
委託内容 笹山じょうもん市等の PR 掲示版及びパネル作成
- ・笹山遺跡広場竪穴式住居実施設計委託 委託金額 315,000 円（NPO 法人笹山縄文の里）
委託内容 笹山遺跡広場に設置する竪穴式住居設計
- ・事業計画区域用地測量業務委託 1,407,000 円（(株)十日町測量）委託内容 市指定笹山遺跡 測量範囲 4,100㎡
立木調査
- ・事業計画用地取得 取得金額 7,405,073 円（H20 年度繰越分 4,909.85㎡）取得金額 2,168,588 円（H21 年度分 1275.64㎡）



笹山遺跡広場竪穴式住居

補償 補償金額 51,996 円（物件移転及び立木売買）
上記のとおり平成 21 年度事業は、笹山じょうもん市の会場地内の整備に着手し、本事業の進捗が目に見える状況を作り出し始めた点が特徴であり、しかも、その整備にあたり発注の受け皿として NPO 法人笹山の里がその機能を発揮し始めたということも大きなポイントであると言える。

さらに特筆しなければならないことは、これらの事業展開が可能となってきたのは、指定地の買収に応じて下さった地元地権者のご協力の賜物であり改めて深く感謝申し上げる次第である。

(3)平成 22 年度事業について

- ・笹山遺跡広場竪穴式住居設置委託 3,454,500円（NPO法人笹山縄文の里）
委託内容 H21年度設計委託した設計書に基づいて笹山遺跡広場に竪穴式住居1棟を設置
- ・竪穴式住居屋根被覆シート及び入口扉作製委託 252,000円（NPO法人笹山縄文の里）
委託内容 積雪期における竪穴式住居保護対策として被覆シートと入口扉の作製戸設置
- ・事業計画用地測量業務委託 1,890,000円（(株)十日町測量）
委託内容 市指定笹山遺跡ほか 測量範囲5,500㎡、立木調査、建物調査
- ・用地買収費（7,000,000円）、補償費（350,000円）は翌年度へ全額明許繰越



笹山遺跡広場全体を使った第 11 回笹山じょうもん市

平成 22 年度事業で市指定地の全用地の測量調査を終了したことにより、指定地の北側エリア及び西側エリアの用地買収をすすめる準備が整ってきたが、代替地を希望する地権者もあるため、実質的な用地交渉は翌年度への繰越とならざるを得ない。

一方、笹山遺跡の第 14 号住居跡の資料を基に設置した竪穴式住居が 1 棟完成したことにより、平成 23 年 6 月開催予定の第 12 回笹山じょうもん市の会場イメージのアップにつながると同時に、火焰の都整備事業そのものの進捗が、さらに目に見える形で現わされてきたと言える。しかし、また、従前からの地元要望である国宝館建設問題が、前倒しで

見直された市総合計画後期基本計画の中には盛り込まれず、合併特例債事業としての当初計画どおり「棚上げ」となったことが、今後の事業進捗に微妙な影響を与えるのではないと思われる。（水落 辰美）

Ⅲ．埋蔵文化財

1．発掘調査

平成 22 年度の発掘調査の内訳は、本調査 3 件、確認調査 2 件、試掘調査 17 件、工事立会 1 件である。調査原因は本調査が県営中山間地域総合整備、国道改良、県道改良で、確認調査が国道改良と保存目的の範囲確認調査である。試掘調査の原因は多岐にわたり区画整理、保育園建設、土砂採取、国道改良、工場建設、県道改良、携帯電話基地局建設、市営土地改良、ファームpond建設、市道改良、歩道建設、県営中山間地域総合整備、パイプライン移設工事などである。

以下に各調査の概要をまとめるが、確認調査と試掘調査の詳細については『平成 22 年度十日町市内遺跡試掘・確認調査概要報告書』を参照願いたい。

本調査

(1) 清津宮峯遺跡

清津宮峯遺跡は旧清津峡小学校の南西約 300 m、清津川左岸の緩斜面に位置している。標高は約 410 m、清津川の現河床面との比高差は約 95 mを測り、現況は水田である。本遺跡は平成 21 年秋に実施した試掘調査で新たに発見された遺跡である。

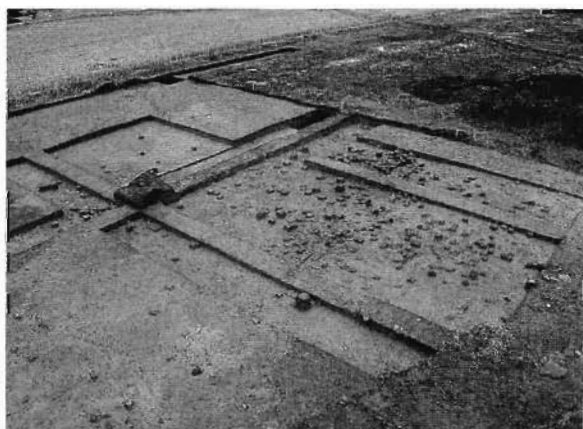
調査は、県営中山間地域総合整備事業に伴い実施した。試掘調査の結果をもとに調査範囲・調査面積を計画し、平成 22 年 6 月 9 日～10 月 4 日まで行った。調査面積は 2222.7㎡である。

調査の結果、開発範囲全体が過去の田直し等で山側は削平され、削平した土壌は低い川側に盛土されていた。遺跡の保存状況は盛土部分は良好であったが、削平部分はかなり下の土層まで壊されていた。調査範囲からは集石土坑や配石が 1 基、土坑・ピットが十数基、石器製作址が 1 基検出されたが、竪穴住居址や掘立柱建物址などは確認されなかった。出土遺物は縄文土器や石器で、整理用コンテナで約 30 箱分出土した。出土遺物全体の 1 %ほどが土器で、残りの 99%は石器が占めている。縄文土器は深鉢で、器形や文様から縄文時代早期中葉～前期後葉に帰属する資料と考えられる。早期の資料は押型文土器、貝殻沈線文土器、条痕文土器、絡条体圧痕文土器、前期後葉の資料は諸磯b式土器である。石器は石鏃、楔形石器、石錐、石匙、三角錐形石器、篋状石器、磨製石斧、石核、多量の剥片・碎片である。使用石材は貞岩がほとんどで、無斑晶ガラス質安山岩、鉄石英、黒曜石などが少量使用されている。三角錐形石器は確認できているだけで 7 点あり、本遺跡を代表する石器と言える。

(2) 貝野沢田遺跡

貝野沢田遺跡は貝野郵便局の北 150 m、貝野小学校の南 250 m、信濃川左岸段丘上を流れる下沢川と南西方向からの沢状地形に挟まれた台地上に位置している。標高は約 186 m、信濃川の現河床面との比高差は約 36 m、下沢川の現河床面との比高差は約 4 mで、現況は水田である。本遺跡は平成 22 年夏に実施した試掘調査で新たに発見された遺跡である。

調査は、主要地方道小千谷十日町津南線 緊急地方道（改築）事業に伴い実施した。試掘調査の結果をもとに調査範囲をⅠ～Ⅴ区の 5 つに分け、今年度はⅠ・Ⅴ区の 2 箇所を対象に、平成 22 年 10 月 4 日～12 月 15 日まで行った。調査面積は計 676.3㎡である。



調査の結果、縄文時代草創期と考えられる石器製作址と縄文時代後期中葉の遺物分布範囲が確認された。調査範囲は田直しに伴う削平や宅地に伴う造成や攪乱を受けていたため、明確な遺構は検出されなかった。縄文時代後期中葉の資料は土器が主体に出土したが散漫な分布状況であった。縄文時代草創期と考えられる石器製作址は信濃川と下沢川に向かう緩傾斜地に位置している。集中部の遺物は、石槨基部や石槨未製品、スクレイパー、多量の調整剥片など約 800 点が出土し、土器は共伴していない。石器に使用されている石材は無斑晶ガラス質安山岩がほとんどを占め、頁岩と凝灰岩が少量使用されている。調査所見では縄文時代草創期として捉えているが、明確な帰属時期については整理作業時に様々な角度からの検討が必要である。

(3) 干溝東遺跡

干溝東遺跡は J R 飯山線の越後田沢駅の北西 250 m、信濃川右岸段丘上に位置している。標高は約 210 m、現況は山林である。本遺跡は平成 22 年春に実施した試掘調査で新たに発見された遺跡である。

調査は、一般国道 353 号小原バイパス 交通連携推進（国道改築）工事に伴い実施した。試掘調査の結果をもとに調査範囲・調査面積を計画し、平成 22 年 11 月 15 日～12 月 13 日まで行った。調査面積は約 300㎡である。

調査の結果、調査範囲は現況が山林だったため、比較的、土層の堆積状況は良好であった。遺構は集石と土坑が検出されたが、その他の遺構はまだ確認されていない。遺物は、縄文土器と石器が出土したが、縄文土器は帰属時期が判断できる資料はなく、石器は楔形石器や剥片などが出土した。

調査の開始時期が遅れたため、降雪により調査を中断せざるを得なかった。調査は平成 23 年度に継続して行われる予定である。



確認調査

確認調査は、国道 353 号改良事業に伴う橋詰居村遺跡と保存目的の範囲確認調査を実施した田沢遺跡の 2 箇所である。橋詰居村遺跡は縄文土器・石器が出土した。平成 24 年度以降に本調査を実施する予定である。田沢遺跡は昭和 43 年に実施された東北大学による第 1 次調査のトレンチが確認された。また、過去に調査されていない未調査範囲も確認され、石槨基部や石鏃などが出土した。

試掘調査

試掘調査は、区画整理（西本町地区）、保育園建設（上野地区）、土砂採取（東田沢・市之越地区）、国道改良（干溝地区）、工場建設（小谷地区）、県道改良（本屋敷地区）、携帯電話基地局建設（高道山・田麦立地区）、市営土地改良（下原田地区）、ため池建設（新町新田地区）、市道改良（上野地区）、歩道建設（中条新田地区）、県営中山間地域総合整備（赤倉・白羽毛地区）、パイプライン移設工事（干溝地区）、個人土地改良（田中地区）に伴って行われた。これらのうち、東田沢地区（谷上 D 遺跡）、市之越地区（宮沢上ノ平遺跡）、干溝地区（干溝東遺跡）、本屋敷地区（貝野沢田遺跡）、下原田地区（下原田 A・下原田 B 遺跡）、白羽毛地区（白羽毛遺跡）で遺構や遺物が確認され、新遺跡が発見された。その他の地区では基盤整備等による削平を受け、遺構・遺物は確認されず、未周知遺跡が存在する可能性は低いと判断した。なお、干溝東遺跡と貝野沢田遺跡は平成 22 年度に本調査を実施し、下原田 A・下原田 B 遺跡と白羽毛遺跡は平成 23 年度に本調査を実施する予定である。（笠井 洋祐）

2. 埋蔵文化財調査報告書作成事業

重要遺跡発掘調査報告書刊行計画（年報 7 参照）では、平成 20 年度に『野首遺跡発掘調査報告書』を刊行する予定であったが、膨大な量の出土遺物に対して事業費が毎年のように削減されるため整理作業が遅々として進まず、刊行計画の変更を余儀なくされている。当初は 1 冊で刊行する計画であったが、縄文時代後期の土器の量が中期を凌ぐ量で、復元作業がほとんど進んでいないため、3 分冊で刊行することとした。第Ⅰ分冊は遺構編、第Ⅱ分冊は遺物編（Ⅰ）／中期の土器・土製品／中・後期の石器・石製品、第Ⅲ分冊は遺物編（Ⅱ）／後期の上器・土製品であり、刊行年度は第 4 表のとおりである。

平成 22 年度は、『野首遺跡発掘調査報告書Ⅰ＜遺構編＞』を刊行した。本文は 62 頁（遺物観察表を含む）、図面図版 63 頁、写真図版 37 頁の計 162 頁である。遺構編ではあるが、遺構に伴って出土した主要な遺物（石器・石製品を除く）についても記述している。遺構図版の作成・編集（デジタル）は業者に委託した。また、遺物図版に掲載した土器の拓本は作業員が作成し、断面の実測とデジタルトレース（合成）を業者に委託している。遺物図版の編集は文化財課嘱託研究員が行った。

第Ⅲ分冊刊行後の計画は未定である。合併前の旧十日町市では大小合わせて 100 を超える遺跡について発掘調査報告書が刊行されていない（年報 11 参照）。1 遺跡 1 冊の刊行では坪が明かないことが明白である。ある程度資料がまとまり重要と思われる遺跡を除いて、地区ごとに一括した形で刊行する計画が現実的であろう。

なお、土器の復元をお願いしていた博物館調査研究員が昨年度で退職したため、本年度より復元作業は業者に委託しており、その委託経費が事業費にプラスされている。本年度は後期の土器を復元すると同時に、森上遺跡出土火焰型土器 1 点の解体修理を行った。

（菅沼 亘）



森上遺跡火焰型土器の修理前（左）と修理後（右）

年 度	予算(千円)	刊行実績・予定	備 考
平成 9	20,000		
平成 10	14,538	『笹山遺跡発掘調査報告書』（第 14 集）	平成 11 年度・国宝指定
平成 11	4,700		
平成 12	4,700		
平成 13	4,700		
平成 14	4,868	『馬場上遺跡発掘調査報告書』（第 22 集）	
平成 15	2,485		
平成 16	3,736	『伊達八幡館跡発掘調査報告書』（第 26 集）	平成 19 年度・県指定文化財指定
平成 17	2,800		
平成 18	3,500	『幅上遺跡発掘調査報告書』（第 34 集）	
平成 19	2,800		
平成 20	1,631		
平成 21	1,500		
平成 22	4,462	『野首遺跡発掘調査報告書Ⅰ＜遺構編＞』（第 43 集）	土器復元作業委託経費含む
平成 23	4,137		
平成 24		『野首遺跡発掘調査報告書Ⅱ＜遺物編(Ⅰ)＞』	
平成 25		『野首遺跡発掘調査報告書Ⅲ＜遺物編(Ⅱ)＞』	
平成 26			
平成 27		『十日町市内遺跡発掘調査報告書Ⅰ』＜下条地区＞	

第 4 表 発掘調査報告書刊行事業の予算の推移と今後の刊行計画

Ⅳ. その他

1. 博物館事業

教育普及・展示事業は特別展、企画展、講座、体験教室、古文書講座の5つで構成されており、平成22年度の事業内容は第5表のとおりである。

夏季特別展では、土偶、石棒、石皿など意図的に壊されて捨てられる遺物を県内外から集め、縄文時代の祭祀を紹介した。秋季企画展では、館所蔵の久保寺南遺跡出土品が3月に県指定文化財指定されたことを記念して、信濃川上・中流域の縄文時代草創期遺跡資料を展示している。

博物館講座では、例年7月に実施しているものの他に、新たな試みとして館の考古学担当学芸員3人が講師となる講座を行った。体験教室では、縄文体験として夏休み期間中に石器・勾玉づくり、冬には縄文クッキーづくりを企画している。

上記の他に、刊行事業として『国宝 笹山遺跡出土品のすべて』（『図録 笹山遺跡』の全面改訂版）を刊行した。なお、平成20・21年度の事業内容は次頁の第6・7表のとおりである。

(菅沼 亘)



夏季特別展「壊されるモノ」



子ども博物館・体験教室「縄文クッキーづくり」

事業	内 容	日時(期間)	会 場	参集者数
特別展	「壊されるモノー土偶・石棒・石皿からみた縄文の祭祀ー」	7/31～9/5	特別展示室	2,504
	記念講演会 ①「土偶のかたちと祭祀のかたち」 講師：原田昌幸氏（文化庁美術学芸課） ②「石棒ー壊される石製品ー」 講師：長田友也氏（南山大学）	8/28	情報館 (視聴覚ホール)	57
	「佐渡金銀山を世界遺産にー新潟大学の取り組みー」(新潟大学共催)	4/27～5/23	特別展示室	1,457
企画展	「第16回 十日町市書道協会展」(貸館)	6/12～14		212
	久保寺南遺跡遺跡出土品 新潟県指定文化財指定記念 「信濃川上・中流域の縄文時代草創期遺跡」	11/2～28	考古展示室	1,337
	記念講演会 ①「石槍・石斧・土器ー謎めいた縄文時代の起源ー」 講師：堤 隆氏（浅間縄文ミュージアム）	11/13	特別展示室	37
	②「信濃川流域の縄文時代草創期遺跡の様相」 講師：佐藤雅一氏（津南町教育委員会）	11/20		20
	信濃川火焰街道連携協議会・博学連携プロジェクト 「子ども縄文研究展2010ー縄文のメッセージ・私のメッセージー」	12/18～1/16		382
	テーマ：「新潟県の考古学最前線Ⅰ」			
博物館講座	①「新潟県の縄文時代遺跡」講師：渡邊裕之氏（新潟県教育庁文化行政課）	7/3	特別展示室	26
	②「弥生時代研究の現在」講師：古澤安史氏（阿賀野市教育委員会）	7/10		18
	③「越後で古墳が造られたころ」講師：尾崎高宏氏（県埋蔵文化財調査事業団）	7/17		17
	テーマ：「考古資料からわかる十日町市の歴史」			
	①「遺跡の調査からわかる縄文人の暮らし」講師：石原正敏（館学芸員）	9/18	特別展示室	26
	②「十日町に武士がいたころ」講師：菅沼 亘（館学芸員）	10/2		27
体験教室	③「土の器を作り始めた頃の十日町」講師：笠井洋祐（館学芸員）	10/16		27
	①縄文体験「石器・勾玉づくり」	8/7	会議室	8
	②縄文体験「縄文クッキーづくり」	12/11	特別展示室	8
古文書講座	入門（全18回）講師：丸山克巳氏（博物館友の会 古文書研究グループ）	6/9～3/26	会議室ほか	11（受講者）
	中級（全18回）講師：丸山克巳氏（博物館友の会 古文書研究グループ）			27（受講者）

第5表 平成22年度 博物館事業一覧

事業	内 容	日時(期間)	会 場	参集者数
特別展	伊達八幡館跡出土品 新潟県指定文化財指定記念 「十日町市の中世遺跡 ― 発掘された集落・居館 ―」	8/12～9/15	特別展示室	1,536
	記念講演会「唐物からみた中世人の生活と信仰」 講師：久保智康氏(京都国立博物館)	9/6	ロビー	32
企画展	「岡田紅陽 富士写真展」	10/11～26	特別展示室	928
	「博物館に寄託・寄贈された考古資料」	11/8～24	考古展示室	497
	信濃川火焰街道連携協議会・博学連携プロジェクト 「子ども縄文研究展2008 ― 縄文のメッセージ・私のメッセージ ―」	12/20～1/12	特別展示室	327
	「博物館収蔵資料展 ― 着物を中心に ―」(雪まつり協賛)	2/20～22	特別展示室	3,051
博物館講座	テーマ：「魚沼を学ぶⅡ」			
	①「原始の魚沼」 講師：石原正敏(館学芸員)	7/19	特別展示室	33
	②「古代の魚沼」 講師：安立 聡氏(魚沼市教育委員会)	7/26		29
	③「中世の魚沼」 講師：鳴海忠夫氏(新潟県考古学会員)	8/2		35
	④「魚沼楽(学)のススメ」 講師：佐藤雅一氏(津南町教育委員会)	8/9		28
体験教室	①「わたしたち縄文体験隊」(土器・勾玉づくり)	8/10	特別展示室	8
	②「シメナワとハッチンチョウをつくろう」	12/7		36
	③「どんぐりクッキーとどんぐりコーヒーをつくろう」	2/14		13
古文書講座	入門(全20回) 講師：丸山克巳氏(博物館友の会 古文書研究グループ)	5/28～3/28	会議室ほか	311(延べ)
	中級(全20回) 講師：丸山克巳氏(博物館友の会 古文書研究グループ)			276(延べ)

第6表 平成20年度 博物館事業一覧

事業	内 容	日時(期間)	会 場	参集者数
特別展	博物館開館・友の会設立30周年・笹山遺跡出土品国宝指定10周年記念 「縄文人の道具箱 野首遺跡展」	8/1～9/13	特別展示室	2,951
	記念講演会 ①「岡本太郎の縄文発見」 講師：山下裕二氏(明治学院大学)	8/8	情報館 (視聴覚ホール)	32
	②「縄文を撮る」 講師：小川忠博氏(写真家)	8/22		35
	③「火焰型土器と野首遺跡」 講師：寺崎裕助氏(新潟県立歴史博物館) 「群馬・長野県の焼町土器」 講師：長谷川福次氏(渋川市教育委員会)	9/5		60
企画展	「石皿と石臼」	11/3～29	考古展示室	1,274
	信濃川火焰街道連携協議会・博学連携プロジェクト 「子ども縄文研究展2009 ― 縄文のメッセージ・私のメッセージ ―」	12/23～1/21	特別展示室	288
	「博物館収蔵資料展」(雪まつり協賛)	2/19～21	ロビー	661
博物館講座	テーマ：「大河ドラマ大地人を学ぶ」			
	①「考古学的に見た坂戸城跡」 講師：藤原敏秀氏(南魚沼市教育委員会)	7/4	特別展示室	45
	②「史料から探る直江兼続の妻おせん」 講師：田中洋史氏(長岡市立中央図書館)	7/11		42
	③「会津120万石と直江状」 講師：福原圭一氏(上越市公文書館準備室)	7/18		38
特別講演会	笹山遺跡出土品国宝指定10周年記念 「縄文式土器の形と文様」 講師：土肥 孝氏(前文化庁美術学芸課主任調査官)	10/4	情報館 (視聴覚ホール)	82
	天地入りレー講演(新潟県立歴史博物館共催) 「北信濃国衆と上杉景勝・直江兼次」 講師：村石正行氏(長野県立歴史館)	10/11		76
体験教室	①「縄文体験 土器・勾玉づくり」	8/9	会議室	15
	②「縄文体験 アンギン編み」 講師：越後アンギン伝承会	12/12	特別展示室	7
古文書講座	入門(全20回) 講師：丸山克巳氏(博物館友の会 古文書研究グループ)	5/27～3/24	会議室ほか	196(延べ)
	中級(全20回) 講師：丸山克巳氏(博物館友の会 古文書研究グループ)			289(延べ)

第7表 平成21年度 博物館事業一覧

年 度	大 学 名	市内出身	市外出身	人 数
平成20	東海大学(1)、愛知淑徳大学(1)	1	1	2
平成21	八洲学園大学(1)、日本大学(1)、長岡造形大学(1)	1	2	3
平成22	富山大学(2)	2		2

第8表 博物館実習生受入れ一覧(平成20～22年度)

2. 文化財資料の保存と活用

(1) 実物資料の貸出

【平成20年度】

貸 出 先	特 別 展 名	会 期	貸 出 資 料	備 考
サントリー美術館	特別展「KAZARIー日本美の情熱ー」	5月24日～7月13日	国宝・笹山遺跡土器 2点	図録あり
京都府京都文化会館		8月2日～9月15日		
広島県立美術館		9月27日～11月9日		
長岡市立科学博物館	秋季企画展「三十稲場式土器とその時代」	9月6日～11月3日	野首遺跡土器 6点	図録あり
浅間縄文ミュージアム	企画展「縄文の動 弥生の静」	10月11日～11月30日	野首・笹山遺跡土器 計11点	
釈迦堂遺跡博物館	開館20周年記念展「縄文華麗なる美の競演」	10月18日～12月8日	野首・幅上遺跡土器 計5点	図録あり

【平成21年度】

貸 出 先	特 別 展 名	会 期	貸 出 資 料	備 考
浅間縄文ミュージアム	春夏季企画展「土偶一破壊の運命をたどる女神ー」	4月25日～8月31日	小坂・ぼんのう・カウカ平A：幅上遺跡土偶 計11点、南雲・伯父ヶ窪・小坂遺跡石製品 計3点	
新潟県立歴史博物館	特別展「火焰土器の国ー5000年前のメッセージ」	4月25日～6月14日	国宝・笹山遺跡土器 3点、笹山・野首・幅上・大井久保・森上遺跡土器 計12点、野首・小坂・ぼんのう・川治上原B・寿久保・大井久保遺跡資料 計13点	図録あり
大阪府立弥生文化博物館		6月27日～8月30日		
長岡市馬高縄文館	企画展「信濃川流域の火焰型土器と三十稲場式土器」	9月19日～11月23日	笹山・野首・幅上遺跡土器 計8点	
国立歴史民俗博物館	企画展「縄文はいつから!?ー1万5千年前になにがおこったのかー」	10月14日～1月24日	千溝遺跡 復元土器1点、久保寺南遺跡土器3個体、石器11点	図録あり
新潟市美術館	「水と土の芸術祭」新潟市美術館での展覧会（第二会期）	11月28日～1月31日	国宝・笹山遺跡土器 1点、笹山・野首遺跡土器 計8点	

【平成22年度】

貸 出 先	特 別 展 名	会 期	貸 出 資 料	備 考
花巻市博物館	企画展「縄文はいつから!?ー1万5千年前になにがおこったのかー」	4月22日～5月30日	千溝遺跡 復元土器1点、久保寺南遺跡土器3個体、石器11点	図録あり
トプカブ宮殿博物館（トルコ共和国イスタンブール）	海外日本古美術展「日本の美 5000年」	5月5日～6月28日	国宝・笹山遺跡土器 1点	図録あり
津南町農と縄文の体験実習館なじょもん	秋季企画展「正面ヶ原A遺跡から垣間見る縄文社会」	9月4日～11月14日	伯父ヶ窪遺跡石製品 1点、樽沢開田遺跡土器 3点、土製品ほか 62点	図録あり
長岡市馬高縄文館	企画展「発掘された縄文時代の大集落・中道遺跡」	7月24日～11月23日	笹山・野首・幅上・小坂遺跡土器 計5点	図録あり

第9表 考古資料の貸出一覧（平成20～22年度）

年 度	主 な 貸 出 先	写真貸出	掲載許可	計
平成 20	(株)小学館、(株)学習研究社、(株)新潮社、(株)文芸堂 ほか	44	49	93
平成 21	光村図書出版(株)、(株)光文書院、(株)帝国書院、(株)浜島書店 ほか	46	45	91
平成 22	(株)雄山閣、(株)レマン、(株)東京書籍、(株)中経出版、(株)正進社 ほか	50	25	75

第10表 写真資料等の貸出一覧

(2) 普及啓発活動

	協 力 内 容	協 力 先	期 日	担 当 職 員
1	第Ⅷ期縄文学講座	渋川市北橋公民館	2008.7.25	石原正敏
2	魚沼市縄文体験教室講師	魚沼市北部公民館	2008.8.5、8.19	石原正敏
3	津南シンポジウムⅣー縄文文化の胎動ー	マウントパーク津南	2008.9.27～9.28	笠井洋祐
4	津南学講座	なじょもん	2008.11.23	笠井洋祐
5	貝野老人会講話	堀之内集落センター	2008.12.2	笠井洋祐
6	シルバー南事務所講話	シルバー南事務所	2009.3.10	笠井洋祐
7	中条シルバー学園 健康づくり大井田生きがい教室講話	中条公民館大井田分館	2009.5.17	石原正敏
8	大地の芸術祭ワークショップ講話	堀之内集落センター	2009.6.6	笠井洋祐
9	十日町北ロータリークラブ例会卓話	十日町商工会議所	2009.6.10、6.17	石原正敏
10	第Ⅹ期縄文学講座	渋川市北橋公民館	2009.7.31	石原正敏
11	とおかまち市民討議会議話	十日町市総合体育館武道場	2009.11.3	竹内俊道、石原正敏
12	フォーラム火焰街道往来2010	長岡商工会議所・新潟県立歴史博物館	2010.2.27～2.28	石原正敏
13	渋川市文化財講演会	渋川市北橋公民館	2010.3.20	石原正敏
14	新潟県公立学校退職校長会 十日町・中魚支部総会講演会	ラポート十日町	2010.7.10	石原正敏
15	とおかまち市民討議会議話	千手中央コミュニティセンター	2010.7.18	石原正敏

16	平成22年度新潟県文化財指導者講習会講話	新潟県庁	2010.8.19	水落辰美
17	2010年度 文化財・博物館関係団体交流会(新潟県)	新潟市歴史博物館	2010.11.27～11.28	石原正敏

第11表 他市町村及び各種団体への協力一覧(平成20～22年度)

(3) 保存活用・普及啓発等に関する職員の著作(平成20～22年度)

- 石原正敏 2008「新潟県地方史研究の動向」『信濃』60-6 信濃史学会(共著)
2009a「日本における洞穴・岩陰遺跡研究の現状と課題」『小野昭教授退職記念シンポジウム 考古学の方法と広がり(予稿集)』首都大学東京考古学研究室
2009b『縄文楽検定テキスト 縄文文化と火焰土器』信濃川火焰街道連携協議会(共著)
2009c「新潟県地方史研究の動向」『信濃』61-6 信濃史学会(共著)
2010a「豪雪地帯に生まれた文化―火焰土器の世界―」『知っておきたい新潟県の歴史』新潟日報事業社
2010b「新潟県地方史研究の動向」『信濃』62-6 信濃史学会(共著)
- 笠井洋祐 2008「縄文時代草創期の石器製作技術―信濃川上流域の遺跡を中心に―」『津南シンポジウムⅣ 縄文文化の胎動―予稿集―』新潟県・津南町教育委員会
2009「中魚沼(十日町市・津南町)の動向」『新潟県考古学会連絡紙』第82号
- ―――・長澤展生 2010『真萩田遺跡・貝野大道下遺跡発掘調査報告書』十日町市教育委員会
- 菅沼 亘 2009a「中世における茶臼の廃棄行為―新潟県内出土資料の分析から―」『小野昭教授退職記念シンポジウム 考古学の方法と広がり(予稿集)』首都大学東京考古学研究室
2009b『縄文人の道具箱 野首遺跡』十日町市博物館・十日町市博物館友の会(編著)
2009c「魚沼地域における考古学調査概観」『新潟県考古学会連絡紙』第82号
2010a「特集 野尻湖遺跡群研究の現状 後期旧石器時代終末から縄文時代草創期までの石器群」『考古学ジャーナル』598 ニューサイエンス社
2010b『壊されるモノ―土偶・石棒・石皿からみた縄文の祭祀―』十日町市博物館(編著)
2010c「縄文が施されていない火焰型土器」『週刊朝日百科 国宝の美』49 朝日新聞出版

(4) 指定文化財に関する文献(主要なもの)

- 十日町市博物館 1982『妻有の文化財』
川西町史編さん委員会 1986『川西町史 資料編上巻』
十日町市博物館 1987『図録 妻有の女衆と縮織―重要有形民俗文化財 越後縮の紡織用具及び関連資料―』
中里村史編さん委員会 1988『中里村史 通史編上巻 自然・原始・古代・中世・近世』
松代町史編纂委員会 1989『松代町史 上巻』
松之山町史編さん委員会 1991『松之山町史』
十日町市博物館 1992『雪国十日町の暮らしと民具―重要有形民俗文化財 十日町の積雪期用具図録―』
松代町教育委員会 1995『松代町の文化財』
十日町市教育委員会文化財課 1997～2008『文化財課年報1～12』
十日町市史編さん委員会 1997『十日町市史 通史編1 自然・原始・古代・中世』
菅沼亘・阿部恭平・石原正敏ほか 1996『笹山遺跡発掘調査報告書』十日町市教育委員会
十日町市博物館 1999『図録 笹山遺跡―国宝指定 笹山遺跡出土品のすべて―』
佐藤雅一・笠井洋祐 2001『久保寺南遺跡』中里村教育委員会
佐野良吉・田村喜一編 2003『妻有郷の文化財』週報とおかまち社
菅沼亘・阿部恭平 2003『馬場上遺跡発掘調査報告書』十日町市教育委員会
川西町 2003『川西町の板碑―越後板碑サミットの記録―』野島出版
菅沼亘・阿部恭平・宮内信雄 2005『伊達八幡館跡発掘調査報告書』十日町市教育委員会
菅沼亘・宮内信雄・吉田邦夫 2007『幅上遺跡発掘調査報告書』十日町市教育委員会

資 料

1. 十日町市の指定文化財一覧

平成 23 年 3 月 31 日現在

[国宝]

番号	種 別	名 称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	備 考
1	考古資料	新潟県笹山遺跡出土深鉢形土器 57点 (附 土器・土製品類・石器・石製品類・ベン ガラ塊 871点)		平11.6.7	西本町 1	十日町市(博物館)	縄文時代

[重要文化財]

番号	種 別	名 称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	備 考
2	建造物	松茸神社本殿	1	昭54.5.31	犬伏	松茸神社	明応6年
3	建造物	星名家住宅	7棟	平3.5.31	上野甲	星名四郎	天保13年
4	有形民俗	越後縮の紡織用具及び関連資料	2,098点	昭61.3.31	西本町 1	十日町市(博物館)	江戸～明治
5	有形民俗	十日町の積雪期用具	3,868点	平3.4.19	西本町 1	十日町市(博物館)	江戸～昭和30年代
6	名勝	田代の七ツ釜		昭12.6.15	田代	十日町市・津南町	
7	名勝	清津峡		昭16.4.23	小出	十日町市・湯沢町	

[新潟県指定文化財]

番号	種 別	名 称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	備 考
1	建造物	神宮寺観音堂・山門	2棟	平3.3.29	四日町	神宮寺	江戸期
2	絵画	山水図鈔雲泉筆六曲屏	1双	昭29.2.10	山本	関口芳央	江戸末期
3	彫刻	木造十一面千手観音立像	1軀	昭46.4.13	四日町	神宮寺	平安後期
4	彫刻	木造四天王立像(伝広目天・伝毘沙門天)	2軀	昭49.3.30	四日町	神宮寺	平安末期
5	考古資料	伊達八幡館跡出土品	281点	平20.3.25	西本町 1	十日町市(博物館)	中世
6	考古資料	久保寺南遺跡出土品	309点	平22.3.23	西本町 1	十日町市(博物館)	縄文草創期
7	有形民俗	越後縮幡	74旗	昭49.3.30 (追50.3.29)	吉田山谷ほか	吉田社 他6社 (博物館)	江戸～明治期
8	史跡	大井田城跡		昭53.3.31	中条	十日町市	南北朝期
9	天然記念物	赤谷十二社の大ケヤキ	1本	昭33.3.5	赤谷	赤谷十二社	幹囲10.1m
10	天然記念物	中尾の大杉	1本	昭33.3.5	中尾	中尾地区	幹囲9.0m
11	天然記念物	小貫諏訪社の大スギ	1本	昭53.3.31	小貫	諏訪神社	幹囲8.33m
12	天然記念物	角間のねじり杉	1本	昭60.3.29	角間	角間地区	

[新潟県選定保存技術]

番号	種 別	名 称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	備 考
一	選定保存技術	屋根葺(茅葺)		平12.3.24	十日町・太平	斎木春治・市川新 一郎 他2名	神宮寺・ 松茸神社

[十日町市指定文化財]

番号	種 別	名 称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	備 考
1	建築物	千手観音堂仁王門	1棟	昭54.6.23	友重	長徳寺	寛延2年
2	建築物	智泉寺山門	1棟	平6.3.23	昭和町3	智泉寺	江戸中期
3	建築物	観泉院山門	1棟	平7.3.24	土市	観泉院	江戸中期
4	絵画	一遍上人絵詞伝	8巻	昭54.9.12	川原町	小林賢有	江戸中期
5	絵画	板絵	1対	平4.12.14	犬伏	松茸神社	明応3年
6	彫刻	木造狛犬	2軀1対	昭45.8.7	犬伏	松茸神社	応永10年
7	彫刻	木造馬頭観音坐像	1軀	昭45.8.7	犬伏	白馬観音堂	応永10年
8	彫刻	銅造阿彌陀如来立像	1軀	平1.12.14	蒲生	中村栄作	鎌倉期
9	彫刻	木造聖観音坐像	1軀	平4.12.14	海老	海老区	慶長期
10	彫刻	銅造十三仏像	1軀	平4.12.14	松代	長命寺	桃山期
11	彫刻	鉄造聖観音立像	1軀	平3.2.1	松之山	陽広寺	鎌倉末～南北朝
12	彫刻	木造延命地藏菩薩立像	1軀	平3.2.1	観音寺	観音寺	桃山期
13	彫刻	銅造地藏菩薩立像	1軀	平3.2.1	天水越	天水越不動堂	永禄9年
14	彫刻	木造聖観音立像	1軀	平3.2.1	中尾	中尾観音堂	桃山～江戸前
15	彫刻	木造阿彌陀如来立像	1軀	平8.3.21	川原町	来迎寺	鎌倉後期
16	彫刻	木造聖観音立像	1軀	平13.3.22	新宮	竜王山講中	戦国期末
17	工芸品	短刀(備州兼光作)	1口	昭45.8.7	犬伏	松茸神社	戦国期
18	工芸品	軍配	1握	昭45.8.7	犬伏	松茸神社	戦国期
19	工芸品	雲板	1面	昭45.8.7	室野	洞泉寺	康正2年銘文 寛政2年再鋳
20	工芸品	越後縮裂見本帳	2冊	昭47.11.28	本町	蕪木孫右	江戸期
21	工芸品	神輿	1基	昭56.2.26	犬伏	犬伏区	安土桃山期

22	工芸品	十日町織物歴代標本帳	47冊	昭62.2.23 (追平1.2.16)	西本町1	十日町織物工業協 同組合(博物館)	明治25年~昭和13年 明治42年~昭和8年
23	工芸品	雲板	1面	平7.8.24	倉俣	東光寺	嘉吉元年 銘文に波多岐莊
24	工芸品	宮本茂十郎手織の透綾(絹縮)裂地	3点	平13.3.22	西本町1	十日町織物工業協 同組合(博物館)	江戸末期 金登屋「雛形 帳」のうち
25	古文書	堀監物直政書状・松平忠輝家老衆定書	1幅	平3.2.1	松之山	村山芽久美	
26	古文書	松芋神領筋平一村売渡証文	1通	平6.12.15	松代	宮沢正翁	
27	古文書	松平忠輝宛行状	1通	平7.8.24	堀之内	南雲三代治	物在堀之内
28	古文書	田沢村天和検地帳 附:宝暦検地帳20冊、その他検地帳11冊	29冊	平7.8.24	西本町1	十日町市(博物館)	原本
29	古文書	太子堂村検地帳	4冊	平12.3.21	西本町1	若井基八郎(博物館)	中世~
30	考古資料	長徳寺板碑	1基	昭51.3.3	友重	長徳寺	応長元年
31	考古資料	鶴吉釈迦堂の自然石板碑	6基	昭51.3.3	鶴吉	鶴吉地区	貞和5年,正平9.15年
32	考古資料	山田観音堂跡の自然石板碑	4基	昭51.3.3	霜条	霜条地区	正平6年 他
33	考古資料	坪山神社の自然石板碑	1基	昭51.3.3	坪山	坪山地区	正平8年
34	考古資料	月見ヶ原公園の自然石板碑	1基	昭51.3.3	伊勢平治	長徳寺	南北朝期
35	考古資料	友重行者堂の自然石板碑	1基	昭51.3.3	友重	白山神社	正平14年
36	考古資料	北田如意庵の自然石板碑	3基	昭51.3.3	仁田	仁田地区	正平14年 他
37	考古資料	三領の自然石板碑	4基	昭51.3.3 昭60.5.28	三領	水品仁呉 水品仁呉 高橋一	南北朝期(2基) 南北朝期
38	考古資料	霜条の自然石板碑	2基	昭51.3.3 昭51.8.25	霜条	蔵品完三 丸山高夫	南北朝期
39	考古資料	鶴吉の自然石板碑	1基	昭51.3.3	鶴吉	田村清仁	正平8年
40	考古資料	中屋敷の自然石板碑	1基	昭51.3.3	中屋敷	山崎和雄	南北朝期
41	考古資料	野口の自然石板碑	1基	昭52.2.27	野口	村越勝	南北朝期
42	考古資料	元町の自然石板碑	2基	昭60.5.28	上野	押木栄二	南北朝期
43	考古資料	仁田の自然石板碑	3基	昭60.5.28	仁田	吉井正司 高橋セツ 小幡藤吉	南北朝期
44	考古資料	木落の自然石板碑	1基	昭60.5.28	木落	和久井富夫	南北朝期
45	考古資料	桐山の自然石板碑	2基	平1.12.14	桐山	十二神社	文和4.5年
46	考古資料	馬場上遺跡出土品	一括	平2.2.22	西本町1	十日町市(博物館)	古墳時代中期 ~平安時代
47	考古資料	笹山遺跡出土品(国指定分を除く)	一括	平2.2.22	西本町1	十日町市(博物館)	縄文時代~中世
48	考古資料	伊達八幡館跡出土品(県指定分を除く)	一括	平11.3.16	西本町1	十日町市(博物館)	中世
49	考古資料	幅上遺跡出土品	一括	平12.3.21	西本町1	十日町市(博物館)	縄文時代
50	歴史資料	松芋神社の俳句献額	1面	平1.12.14	犬伏	松芋神社	寛政10年
51	歴史資料	神宮寺観音堂の俳句献額	1面	平14.3.22	四日町	神宮寺	明和元年
52	歴史資料	諏訪神社の俳句献額	1面	平14.3.22	諏訪町	諏訪神社	安永7年
53	歴史資料	縮間屋加賀屋蕪木家資料	一括	平22.3.18	西本町1	蕪木元昭	江戸後期
54	風俗慣習	婿投げ		平3.2.1	湯本・天水越	湯本・天水越地区	
55	風俗慣習	スミぬり		平3.2.1	湯本	湯本地区	
56	風俗慣習	新水のドウラクジンとハネツケエーシ		平7.3.24	新水	新水地区	道楽神・羽根返し
57	風俗慣習	水沢の石場かち		平15.3.24	土市	水沢地区伝統芸能保存会	
58	民俗芸能	赤倉神楽		昭51.11.8	赤倉	赤倉神楽保存会	
59	民俗芸能	室野神楽		昭56.2.26	室野	室野神楽保存会	
60	民俗芸能	芋島神楽		昭56.2.26	芋島	芋島神楽保存会	
61	民俗芸能	田代神楽		昭57.4.1	田代	田代神楽保存会	
62	民俗芸能	中条大の坂		昭59.1.26	中条旭町	中条大の坂保存会	
63	民俗芸能	新保広大寺節		昭59.1.26	下条本町	新保広大寺節保存会	
64	民俗芸能	上川手歌舞伎		平11.7.21	上川手	上川手歌舞伎保存会	
65	民俗芸能	千手露香		平12.7.19	千手	千手露香保存会	
66	民俗芸能	野口神楽		平13.3.16	野口	野口伝統芸能保存会	
67	有形民俗	越後アンギン及び関係資料	一括	平11.3.16	西本町1	十日町市(博物館)	江戸~明治時代
68	史跡	犬伏城跡		昭45.8.7	犬伏	犬伏区	
69	史跡	蒲生城跡		昭45.8.7	蒲生	蒲生区	
70	史跡	室野城跡		昭45.8.7	室野	室野区	
71	史跡	四日町神宮寺境内地及び山林		昭47.11.28	四日町	神宮寺	江戸期
72	史跡	節黒城跡		昭50.2.26	新町新田	十日町市	室町期
73	史跡	大黒沢正平在銘梵字碑	1基	昭51.1.10	大黒沢	村山キノエ	南北朝期

74	史跡	鉢の石仏		昭53. 1. 28	鉢	鉢石仏保存会	江戸期 民間信仰地
75	史跡	笹山遺跡		平4. 12. 3	中条上町	岩田栄十郎 他	縄文～中世
76	史跡	羽川城跡		平10. 3. 25	麻畑	羽川城跡保存会	戦国期
77	名勝	積翠荘		昭55. 4. 11	吉田山谷	酒井うめ子	江戸期
78	名勝	岩見堂		平3. 2. 1	浦田	十日町市	
79	天然記念物	元町諏訪神社の親子スギ	2本	昭50. 2. 26	上野	元町諏訪神社	幹周 5.37m
80	天然記念物	海老の牛池		昭56. 2. 26	海老	海老区	
81	天然記念物	松代田沢十二社の大ケヤキ	1本	昭56. 2. 26	松代田沢	十二神社	幹周 7.03m
82	天然記念物	松代田沢十二社の大イチョウ	1本	昭56. 2. 26	松代田沢	十二神社	幹周 5.03m
83	天然記念物	長命寺の大イチョウ	1本	昭56. 2. 26	松代	長命寺	幹周 8.45m
84	天然記念物	寺田の大力エデ	1本	昭56. 2. 26	寺田	井上政身	幹周 2.66m
85	天然記念物	姿箭放神社の大ケヤキ	1本	昭63. 7. 20	姿	箭放神社	樹齢約560年 幹周 5.43m
86	天然記念物	高瀬神社社叢		平1. 10. 3	背戸	高瀬神社	
87	天然記念物	ニッポンシロウリガイ化石	1塊	平1. 12. 14	松代	十日町市(まつだい郷土資料館)	
88	天然記念物	洞泉寺の大ケヤキ	1本	平1. 12. 14	室野	洞泉寺	幹周 6.90m
89	天然記念物	室野松茸神社の大スギ	1本	平4. 12. 14	室野	室野松茸神社	幹周 5.07m
90	天然記念物	小谷の大ケヤキ	1本	平3. 2. 1	小谷	小谷地区	幹周 6.50m
91	天然記念物	大荒戸の庚申夫婦スギ	2本	平3. 2. 1	大荒戸	大荒戸地区	幹周 6.70m 5.10m
92	天然記念物	天水山麓のブナ原生林		平3. 2. 1	天水越	十日町市	50ha
93	天然記念物	安養寺松尾神社の大スギ	1本	平4. 3. 21	安養寺	安養寺地区	樹齢約500年 幹周 7.99m
94	天然記念物	安養寺円通庵の三本スギ	3本	平4. 3. 21	安養寺	安養寺地区	樹齢約500年 西側から 幹周7.44m 6.18m 3.89m
95	天然記念物	枯木又竜王社の三本スギ	3本	平6. 3. 23	枯木又	東西枯木又	西側から幹周 4.43m 4.35m 6.00m
96	天然記念物	枯木又竜王池		平6. 3. 23	枯木又	東西枯木又	
97	天然記念物	渋海川河床の甌穴群		平9. 3. 11	松代田沢	新潟県	
98	天然記念物	入山のカシミザクラ	1本	平9. 3. 24	入山	山本丑松	1m上で分枝根回り5.75m
99	天然記念物	藤沢熊野神社の二本スギ	2本	平9. 4. 28	藤沢	藤沢熊野神社奉賛会	左幹周5.36m 右4.93m
100	天然記念物	田戸十二社の二本スギ	2本	平9. 4. 28	田戸	田戸区長	左幹周4.84m 右4.67m
101	天然記念物	白倉のカシミザクラ	1本	平10. 4. 27	小白倉	十日町市	幹周3.84m
102	天然記念物	程島 下の行者の大ケヤキ	1本	平22. 3. 18	程島	南雲敏晴	幹周9.23m
103	天然記念物	葎沢十二社の大スギ	1本	平22. 3. 18	葎沢	十二社	幹周7.12m

〔十日町市指定地域文化財〕

番号	種 別	名 称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	備 考
1	地域文化財	松代城跡		昭45. 8. 7	松代	松代区	
2	地域文化財	蓬平城跡		昭45. 8. 7	蓬平	蓬平区	
3	地域文化財	千手観音堂仁王像	2軀	昭54. 6. 23	友重	長徳寺	江戸中期
4	地域文化財	鏡ヶ池		昭54. 7. 25	中尾	中尾地区	
5	地域文化財	標旗	1旗	昭55. 4. 11	六箇山谷	祇園寺	江戸初期
6	地域文化財	芋島の石地蔵	1軀	昭56. 2. 26	芋島	芋島区	昭和7年
7	地域文化財	洞泉寺の子育て地蔵	1軀	昭56. 2. 26	室野	洞泉寺	
8	地域文化財	道元禅師絵伝	双幅	昭56. 2. 26	千年	普門庵	嘉永7年
9	地域文化財	犬伏裸太鼓		昭56. 2. 26	犬伏	犬伏裸太鼓保存会	
10	地域文化財	木造不動明王立像	1軀	平1. 12. 14	室野	洞泉寺	戦国末左腕欠
11	地域文化財	神像(伝善財童子)	3軀	平1. 12. 14	桐山	十二神社	
12	地域文化財	釈迦涅槃図	1幅	平4. 12. 14	犬伏	犬伏区	
13	地域文化財	木造狛犬(黒倉十二神社)	2軀1対	平3. 2. 1	黒倉	黒倉十二神社	桃山
14	地域文化財	西之前遺跡出土品	1括	平3. 2. 1	松之山	市松之山公民館	縄文後、古・中
15	地域文化財	木造十王像	10軀	平3. 2. 1	藤倉	正法寺	室町後～江戸初
16	地域文化財	木造狛犬(天水越松茸神社)	2軀1対	平3. 2. 1	天水越	天水越松茸神社	桃山
17	地域文化財	上杉塚跡(管領塚)		平3. 2. 1	天水越	十日町市	碑大正4年
18	地域文化財	芋島三十三観音像	25軀1括	平7. 12. 5	芋島	芋島区	
19	地域文化財	木造十王像	6軀	平7. 12. 5	儀明	儀明区	
20	地域文化財	桔梗原新田用水路絵図	1通	平16.10.18	上山	中里土地改良区	
21	地域文化財	奴奈川村道路元標	1基	平4. 12. 14	室野	室野区	大正8年
22	地域文化財	枯木又のカシミザクラ	1本	平6. 3. 23	枯木又	東西枯木又	
23	地域文化財	石像道しるべ	3基	平7. 12. 5	菅刈・蒲生	菅刈区・蒲生区	江戸期
24	地域文化財	越後アンギン製作技術		平11. 3. 16	西本町1	越後アンギン伝承会	
25	地域文化財	昉平のお葉付イチョウ	1本	平4. 12. 14	昉平	高橋宏至	
26	地域文化財	寺田の白フジ	1本	平4. 12. 14	寺田	井上功	

2. 文化財課20年の歩み(1990～2011)

年 度	予算・人員・出来事など					
1990(平成2)年度	当初予算額	24,460千円	補正額	3,820千円	決算額	28,068千円
	不 用 額	212千円	繰越額	0千円	備 考	
	職 員	星野元一、斎木仁、阿部恭平、竹内俊道、樋口克子、石原正敏、高橋由美子、河合順之(8月～)、(補助員)山田敏枝・上野洋子・仲沢仁・宇都宮滋美				
	出 来 事	文化財課の新設(4.1)、幅上遺跡の発掘調査、人井田城跡に説明板設置				
1991(平成3)年度	当初予算額	32,823千円	補正額	6,860千円	決算額	39,456千円
	不 用 額	227千円	繰越額	0千円	備 考	
	職 員	星野元一、斎木仁、阿部恭平、竹内俊道、樋口克子、石原正敏、高橋由美子、河合順之(～5月)、(臨時)山田敏枝・上野洋子・遠田芳子・吉沢順子				
	出 来 事	十日町の積雪期用具の重文指定(4.19)、リゾート関連遺跡調査の委託契約締結(～平成8年度)、神宮寺に説明板設置				
1992(平成4)年度	当初予算額	37,778千円	補正額	2,681千円	決算額	40,224千円
	不 用 額	256千円	繰越額	0千円	備 考	
	職 員	波形卯二、斎木仁、阿部恭平、竹内俊道、樋口克子、石原正敏、高橋由美子、菅沼亘、星野奈美、(臨時)山田敏枝・上野洋子・遠田芳子・吉沢順子				
	出 来 事	重要文化財・火焰型土器のワシントン・アーサーサックラー美術館への出陳、大井久保遺跡・ぼんのう遺跡の発掘調査、鉢の石仏に説明板設置				
1993(平成5)年度	当初予算額	27,255千円	補正額	14,390千円	決算額	41,389千円
	不 用 額	256千円	繰越額	0千円	備 考	
	職 員	波形卯二、熊木剛、阿部恭平、竹内俊道、樋口克子、石原正敏、高橋由美子、菅沼亘、星野奈美、(臨時)山田敏枝・上野洋子・吉沢順子				
	出 来 事	大黒沢正平在銘梵字碑と姿箭放神社の大ケヤキに説明板設置				
1994(平成6)年度	当初予算額	24,206千円	補正額	1,053千円	決算額	25,156千円
	不 用 額	103千円	繰越額	0千円	備 考	
	職 員	波形卯二、熊木剛、阿部恭平、竹内俊道、樋口克子、石原正敏、高橋由美子、菅沼亘、星野奈美、(臨時)山田敏枝・上野洋子				
	出 来 事	大沢遺跡・城之古遺跡の発掘調査、高龍神社社叢に説明板設置				
1995(平成7)年度	当初予算額	35,197千円	補正額	△4,746千円	決算額	29,911千円
	不 用 額	539千円	繰越額	0千円	備 考	
	職 員	波形卯二、熊木剛、阿部恭平、庭山敏子、竹内俊道、石原正敏、菅沼亘、太田喜重、星野奈美、(臨時)山田敏枝・上野洋子				
	出 来 事	安養寺松尾神社の大スギ・円通庵の三本スギに説明板設置				
1996(平成8)年度	当初予算額	90,334千円	補正額	△19,360千円	決算額	67,104千円
	不 用 額	3,870千円	繰越額	0千円	備 考	
	職 員	波形卯二、熊木剛、阿部恭平、竹内俊道、庭山敏子、角山誠一、石原正敏、菅沼亘、太田喜重、(臨時)山田敏枝・上野洋子、(補助員)吉楽勝弥				
	出 来 事	野首遺跡・島A遺跡・なんぜん萱場遺跡の発掘調査、笹山遺跡に説明板設置				
1997(平成9)年度	当初予算額	75,599千円	補正額	4,276千円	決算額	77,673千円
	不 用 額	2,202千円	繰越額	0千円	備 考	
	職 員	風間栄光、阿部恭平、高橋アキ、竹内俊道、庭山敏子、角山誠一、石原正敏、菅沼亘、太田喜重、(臨時)山田敏枝・上野洋子、(補助員)吉楽勝弥				
	出 来 事	寿久保遺跡・つつじ原C遺跡の発掘調査、観泉院山門に説明板設置				
1998(平成10)年度	当初予算額	23,004千円	補正額	7,786千円	決算額	30,407千円
	不 用 額	383千円	繰越額	0千円	備 考	
	職 員	風間栄光、丸山克巳、阿部恭平、高橋トシ子、高橋アキ、角山誠一、石原正敏、菅沼亘、太田喜重、村山恵美子、(臨時)山田敏枝・上野洋子				
	出 来 事	『笹山遺跡発掘調査報告書』の刊行、智泉寺山門に説明板設置、国宝・火焰型土器のバリ日本文化会館への出陳				
1999(平成11)年度	当初予算額	38,400千円	補正額	△1,490千円	決算額	35,397千円
	不 用 額	1,513千円	繰越額	0千円	備 考	
	職 員	山田正毅、阿部恭平、高橋トシ子、高橋アキ、村竹修、石原正敏、菅沼亘、太田喜重、村山恵美子、(臨時)山田敏枝・上野洋子				
	出 来 事	笹山遺跡出土品の国宝指定(6.7)、谷地A遺跡・中新田A遺跡などの発掘調査、羽川城跡に説明板設置				

2000(平成12)年度	当初予算額	30,928千円	補正額	△9,296千円	決算額	20,680千円
	不 用 額	952千円	繰越額	0千円	備 考	
	職 員	山田正毅、阿部恭平、高橋アキ、竹内俊道、村竹修、石原正敏、菅沼亘、太田喜重、岩田恵美子、(臨時)山田敏枝・上野洋子、(補助員)根津恵・宮内信雄				
	出 来 事	道端A遺跡・道下南遺跡の発掘調査、人山のカスミザクラに説明板設置				
2001(平成13)年度	当初予算額	19,233千円	補正額	1千円	決算額	18,880千円
	不 用 額	354千円	繰越額	0千円	備 考	
	職 員	山田正毅、竹内俊道、高橋アキ、村竹修、太田喜重、菅沼亘、岩田恵美子、林真子、(嘱託)阿部恭平、(臨時)山田敏枝・上野洋子、(補助員)根津恵				
	出 来 事	国宝・火焰型土器の大英博物館への出陳、狐城跡の発掘調査				
2002(平成14)年度	当初予算額	28,122千円	補正額	△3,366千円	決算額	24,316千円
	不 用 額	440千円	繰越額	0千円	備 考	
	職 員	上村松雄、竹内俊道、太田喜重、菅沼亘、岩田恵美子、林真子、富井寛人、(嘱託)阿部恭平、(臨時)山田敏枝・上野洋子、(補助員)高橋柱子				
	出 来 事	水沢館跡の発掘調査、『馬場上遺跡発掘調査報告書』の刊行				
2003(平成15)年度	当初予算額	32,640千円	補正額	△8,100千円	決算額	23,819千円
	不 用 額	721千円	繰越額	0千円	備 考	
	職 員	上村松雄、竹内俊道、石原正敏、菅沼亘、岩田恵美子、林真子、富井寛人、(嘱託)阿部恭平、(臨時)山田敏枝・上野洋子				
	出 来 事	江道A遺跡の発掘調査				
2004(平成16)年度	当初予算額	30,625千円	補正額	△2,189千円	決算額	24,188千円
	不 用 額	4,248千円	繰越額		備 考	
	職 員	小林宏行、竹内俊道、石原正敏、菅沼亘、富井寛人、阿部美紀、(嘱託)阿部恭平、(臨時)山田敏枝、(補助員)上野洋子・宮内信雄				
	出 来 事	江道B・C遺跡の発掘調査、『伊達八幡館跡発掘調査報告書』の刊行				
2005(平成17)年度	当初予算額	46,948千円	補正額	2,537千円	決算額	49,485千円
	不 用 額		繰越額	6,490千円	備 考	
	職 員	小林宏行、竹内俊道、水落辰美、石原正敏、菅沼亘、笠井洋祐、大見好行、阿部美紀、(嘱託)阿部恭平、(臨時)山田敏枝、(補助員)上野洋子・宮内信雄・板橋恭子				
	出 来 事	市町村合併(4.1)、星名家住宅保存修理事業、ヒノ山開墾地遺跡の発掘調査				
2006(平成18)年度	当初予算額	48,186千円	補正額	△8,858千円	決算額	38,347千円
	不 用 額	981千円	繰越額	0千円	備 考	
	職 員	小林宏行、竹内俊道、水落辰美、石原正敏、菅沼亘、福原真由美、笠井洋祐、大見好行、(嘱託)阿部恭平、(臨時)山田敏枝、(補助員)上野洋子・宮内信雄				
	出 来 事	市指定文化財の見直し答申、『幅上遺跡発掘調査報告書』の刊行				
2007(平成19)年度	当初予算額	187,819千円	補正額	19,200千円	決算額	122,943千円
	不 用 額	1,850千円	繰越額	82,300千円	備 考	
	職 員	小林宏行、竹内俊道、水落辰美、石原正敏、菅沼亘、笠井洋祐、大見好行、吉澤真由美、(嘱託)宮内信雄、(臨時)斎藤浩俊、(補助員)上野洋子・角山誠一				
	出 来 事	松代郷土資料館移転改修事業、伊達八幡館跡出土品の県文化財指定				
2008(平成20)年度	当初予算額	209,309千円	補正額	6,501千円	決算額	284,222千円
	不 用 額	3,092千円	繰越額	10,796千円	備 考	
	職 員	竹内俊道、長津政勝、水落辰美、石原正敏、菅沼亘、笠井洋祐、大見好行、吉澤真由美、(嘱託)宮内信雄、(補助員)上野洋子・角山誠一				
	出 来 事	松代郷土資料館移転改修事業完了、上屋敷遺跡の発掘調査				
2009(平成21)年度	当初予算額	73,197千円	補正額	10,428千円	決算額	90,759千円
	不 用 額	3,663千円	繰越額	0千円	備 考	
	職 員	竹内俊道、長津政勝、水落辰美、石原正敏、菅沼亘、笠井洋祐、吉澤真由美、小市知子、(嘱託)宮内信雄、(補助員)上野洋子・角山誠一・富澤孝之				
	出 来 事	樽沢開田遺跡の発掘調査、久保寺南遺跡出土品の県文化財指定				
2010(平成22)年度	当初予算額	55,821千円	補正額	22,688千円	決算額	62,909千円
	不 用 額	1,140千円	繰越額	14,460千円	備 考	
	職 員	平野勝、長津政勝、水落辰美、石原正敏、菅沼亘、太田喜重、笠井洋祐、小市知子、(嘱託)宮内信雄、(補助員)上野洋子・角山誠一・斎藤浩俊・富澤孝之				
	出 来 事	清津宮峯遺跡の発掘調査、国宝・火焰型土器のイスタンブール・トプカプ宮殿博物館への出陳、重要文化財・星名家住宅の保存修理事業完了				

3. 埋蔵文化財関係データ

	十日町地区	川西地区	中里地区	松代地区	松之山地区	計
平成 17 年 4 月現在	248	84	68	47	48	495
平成 17 年度新規登録		40		5	1	46
平成 18 年度新規登録	1		1			2
平成 19 年度新規登録			4			4
平成 20 年度新規登録		2	7			9
平成 21 年度新規登録			2			2
平成 22 年度新規登録	2		3			5
計	251	126	85	52	49	563

第 14 表 各地区の登録遺跡数の推移

	十日町地区	川西地区	中里地区	松代地区	松之山地区	計
遺物包含地・散布地	153	81	71	17	10	331
集落跡	27	0	7	0	0	34
城館跡	36	11	6	7	4	64
社寺跡	2	0	0	2	0	4
塚・経塚	32	12	1	25	34	104
板碑・石碑・石塔	1	22	0	1	1	25
計	251	126	85	52	49	563

第 15 表 登録遺跡の種別内訳

	十日町地区	川西地区	中里地区	松代地区	松之山地区	計
旧石器時代	4	1	7	0	0	12
縄文時代	146	76	69	16	9	313
弥生時代～古代	10	1	0	0	0	11
中世～近世	55	20	8	8	4	95
不明	36	28	1	28	36	129
計	251	126	85	52	49	563

※複合遺跡は主要時期のみをカウント

第 16 表 登録遺跡の時代別内訳

調 査 原 因		本調査	確認	試掘	備 考
道 路	国道・県道・市道	11	2	17	貝野久保遺跡、真萩田遺跡（1 次、2 次）、上屋敷遺跡（1 次、2 次）、貝野大道下遺跡、貝野沖遺跡、溝遺跡、尾崎館跡、尾崎館跡隣接地、貝野沢田遺跡、干溝東遺跡、橋詰居村遺跡
	広域農道・林道ほか	0	2	4	貝野天池遺跡、坪野館跡
鉄 道		0	0	0	
土地造成	県営圃場整備	3	0	19	梶花遺跡、樽沢開田遺跡、清津宮峯遺跡
	区画整理	0	0	1	
	土地改良	0	1	2	久保寺遺跡
	国営パイロット	0	0	0	
	ゴルフ場	0	0	0	
	リゾート開発	0	0	0	
	公園整備	0	0	0	
	土砂採取等	0	3	15	狐窪遺跡、田沢中道遺跡（1 次、2 次）
	その他	2	2	1	上ノ山開墾地遺跡（確認、1 次、2 次）、上ノ山遺跡
建 築	学校等	0	0	1	
	体育施設等	0	0	0	
	公共施設等	0	2	0	会所前 A 遺跡（2 次）
	住宅・店舗・工場等	0	3	6	滝の坂遺跡、道下南遺跡、坪野館跡
その他	耐震性貯水槽	0	0	4	
	携帯電話基地局	0	0	9	
鉄塔建設		0	0	0	
学術調査		0	0	0	
合 計		16	15	79	

第 17 表 発掘調査の原因（平成 17 年度以降）

調査年度	発掘	試掘	遺 跡 名
昭和34(1959)	1		小坂遺跡(1次)
昭和35(1960)	1		小坂遺跡(2次)
昭和45(1970)	1		牛ヶ首遺跡
昭和48(1973)	2		城之古遺跡(1次、県教委)、川治百塚第6号塚(県教委)
昭和49(1974)	2	9	馬場上遺跡(1・2次)
昭和50(1975)	3	20	馬場上遺跡(3・4次)、北原八幡遺跡(県教委)
昭和51(1976)	1		つつじ原B遺跡(1次)
昭和55(1980)	3		坪野館跡、馬場上遺跡(5次)、笹山遺跡(1次)
昭和56(1981)	2		池之端遺跡、笹山遺跡(2次)
昭和57(1982)	7		笹山遺跡(3～5次)、笹山塚群、カタガリ遺跡、カタガリ城跡、小坂遺跡(3次)
昭和58(1983)	4	2	赤羽根遺跡(1・2次)、馬場館跡(1次)、馬場神社遺跡
昭和59(1984)	6	4	馬場上遺跡(6次)、江崎遺跡、笹山遺跡(6次)、馬場館跡(2次)、赤羽根遺跡(3次)、柳木田遺跡(1次)
昭和60(1985)	6	3	柳木田遺跡(2次)、川治上原A遺跡、川治上原B遺跡、笹山遺跡(7次)、水穴遺跡(1次)、南谷内館跡(1次)
昭和61(1986)	2	2	栗ノ木田遺跡、南谷内館跡(2次)
昭和62(1987)	3	5	伊達八幡館跡、寺大門北遺跡、寺大門南遺跡
昭和63(1988)	4	10	河原田遺跡(1次)、社畑遺跡、猪原遺跡、朴ノ木清水B遺跡
平成元(1989)	8	17	朴ノ木清水A遺跡、つつじ原A遺跡、つつじ原B遺跡(2次)、大清水遺跡、中段遺跡、天池A遺跡、天池B遺跡、野首遺跡(1次)
平成2(1990)	4	11	薮坂・ツ塚、狐塚遺跡、水沢館跡(1次)
平成3(1991)	6	20	横割遺跡、大新田遺跡、牛塚遺跡、椿池遺跡、河原田遺跡(2次)、牧脇遺跡
平成4(1992)	7	12	道下遺跡、宮ノ上A遺跡、宮ノ上B遺跡、水穴遺跡(2次)、延命寺遺跡、大井久保遺跡、ぼんのう遺跡(1次)
平成5(1993)	7	9	高島南原A遺跡、高島南原B遺跡、カウカ平A遺跡、カウカ平B遺跡、ぼんのう遺跡(2次)、珠川A遺跡(1次)、珠川B遺跡
平成6(1994)	6	10	珠川A遺跡(2次)、大沢遺跡、上塚原B遺跡、中道遺跡、思川遺跡、城之古遺跡(2次)
平成7(1995)	8	7	城之古遺跡(3次)、上梨子A遺跡、上梨子B遺跡、ぼんのう南遺跡、上組A遺跡、上組B遺跡、戸屋遺跡(1次)、野首遺跡(2次)
平成8(1996)	12	9	野首遺跡(3次)、戸屋遺跡(2次)、岡山遺跡、アミダ屋敷A遺跡、谷内田遺跡、島A遺跡、島B遺跡、白井田A遺跡、白井田B遺跡、なんぜん菅場遺跡(1次)やせ舟遺跡(1・2次)
平成9(1997)	10	2	やせ舟遺跡(3次)、春山遺跡、寿久保遺跡、十三沖A遺跡、十三沖B遺跡、中曽根A遺跡、原田A遺跡、原田B遺跡、つつじ原C遺跡、なんぜん菅場遺跡(2次)
平成10(1998)	3	11	谷地A遺跡(1次)、中新田B遺跡(1次)、廿日城東遺跡(1次)
平成11(1999)	6	4	谷地A遺跡(2次)、中新田A遺跡、中新田B遺跡(2次)、廿日城東遺跡(2次)、下梨子遺跡(1次)、泥木遺跡
平成12(2000)	5	6	道端A遺跡、道端B遺跡、道下南遺跡、馬場上遺跡(7次)、上塚原A遺跡
平成13(2001)	3	4	狐城跡(1次)、水沢館跡(2次)、桃山遺跡
平成14(2002)	4	10	水沢館跡(3次)、狐城跡(2次)、宮栗北遺跡、馬場上遺跡(8次)
平成15(2003)	4	3	江道A遺跡、大道下遺跡、狐城跡(3次)、中林I遺跡
平成16(2004)	3	5	江道B遺跡、江道C遺跡、下梨子遺跡(2次)
平成17(2005)	4	10	会所前A遺跡(2次)、上ノ山開墾地遺跡(1次)、上ノ山遺跡
平成18(2006)	2	8	上ノ山開墾地遺跡(2次)、尾崎館跡
平成19(2007)	4	14	梶花遺跡、貝野久保遺跡、真萩田遺跡
平成20(2008)	6	16	貝野大道下遺跡、真萩田遺跡(2次)、上屋敷遺跡
平成21(2009)	9	14	樺沢開田遺跡、貝野沖遺跡、上屋敷遺跡(2次)、溝遺跡、久保寺遺跡、道下南遺跡、田沢中道遺跡、坪野館跡、田沢遺跡
平成22(2010)	5	17	清津宮峯遺跡、貝野沢田遺跡、干溝東遺跡、橋詰居村遺跡、田沢遺跡
小 計	174	274	

調査年度	発掘	試掘	遺 跡 名
昭和34(1959)	1		泉竜寺遺跡
昭和40(1965)	1		中林遺跡
昭和43(1968)	1		田沢遺跡
昭和48(1973)	1		森上遺跡
昭和54(1979)	1		壬遺跡(1次)
昭和55(1980)	1		壬遺跡(2次)
昭和56(1981)	1		壬遺跡(3次)
昭和57(1982)	1		壬遺跡(4次)
昭和60(1985)	1	1	鷹之巣遺跡
昭和61(1986)	1		壬遺跡(5次)
昭和63(1988)	1		布場遺跡(1次)
平成元(1989)	1		通り山遺跡
平成2(1990)	1	2	一里塚遺跡
平成3(1991)	2	1	壬遺跡(6次)、干溝遺跡
平成4(1992)	2	1	小丸山遺跡、おざか清水遺跡
平成5(1993)	1		御屋敷遺跡
平成8(1996)		2	桂遺跡
平成9(1997)		7	
平成10(1998)		2	
平成11(1999)	1	2	久保寺南遺跡
平成12(2000)	1	4	家ノ上遺跡
平成13(2001)	4	7	貝野遺跡、中島遺跡(1次)、内後遺跡(1次)、布場遺跡(2次)
平成14(2002)	8	5	内後遺跡(2次)、中島遺跡(2次)、中田B遺跡、中田D遺跡、堂ノ上遺跡(1次)、宮中家ノ中遺跡、原屋敷遺跡、会所前遺跡
平成15(2003)	3	6	上橋遺跡、内後遺跡(3次)、堂ノ上遺跡(2次)
平成16(2004)	2	4	会所前A遺跡(1次)、干溝南遺跡
小 計	37	44	

調査年度	発掘	試掘	遺 跡 名
平成9(1997)	1		向原II遺跡(確認)
平成10(1998)	1		向原II遺跡(1次)
平成11(1999)	1		向原II遺跡(2次)
小 計	3		

第18表 発掘調査一覧(上段:旧十日町市・新十日町市、中段:旧中里村、下段:旧松代町)

年 度	試掘調査	確認調査	本 調 査	調査面積	事 業 費	調査遺跡
平成10年度	10件	1 件		約900㎡	2,000千円	谷地 A 遺跡ほか
平成11年度	3 件	1 件		約350㎡	1,000千円	下梨子遺跡ほか
平成12年度	4 件	2 件		約680㎡	1,200千円	馬場上遺跡、上塚原 A 遺跡ほか
平成13年度	2 件	2 件		約620㎡	4,000千円	狐城跡、水沢館跡ほか
平成14年度	7 件	3 件	1 件	約1,800㎡	6,000千円	宮栗北遺跡、狐城跡、馬場上遺跡、水沢館跡ほか
平成15年度	3 件	3 件		約1,510㎡	4,200千円	大道下遺跡、中林 I 遺跡、狐城跡ほか
平成16年度	3 件	5 件		237㎡	3,800千円	宮栗北遺跡隣接地、下梨子遺跡、上ノ山開墾地遺跡隣接地ほか
平成17年度	10件	4 件		1,156㎡	5,266千円	会所前 A 遺跡、上ノ山開墾地遺跡、上ノ山遺跡、尾崎館跡隣接地ほか
平成18年度	8 件		1 件	555㎡	7,000千円	尾崎館跡、梶花遺跡、真萩田遺跡、貝野久保遺跡ほか
平成19年度	13件	1 件		約1,348㎡	4,320千円	田中山の根遺跡、上屋敷遺跡、貝野大道下遺跡、狐窪遺跡ほか
平成20年度	16件	3 件		約1,858㎡	3,800千円	田沢中道遺跡、田沢谷上遺跡、滝の坂遺跡、貝野天池遺跡、坪野館跡、貝野沖遺跡、樽沢開田遺跡ほか
平成21年度	15件	4 件		約740㎡	3,200千円	溝遺跡、清津宮峯遺跡、久保寺遺跡、道下南遺跡、田沢中道、坪野館跡ほか
平成22年度	17件	1 件		732㎡	3,000千円	橋詰居村遺跡、干溝東遺跡、貝野沢田遺跡、下原田 A 遺跡、下原田 B 遺跡ほか
(平均)	8.5件	2.3件	0.2件	約960㎡	3,752.8千円	

第19表 文化財保存事業費補助金関係事業の推移(平成10～22年度) ※平成16年度以前は旧十日町市

4. 文化財関係者名簿

氏 名	担 当 分 野	備 考
武田 正史	文化財一般、記念物(史跡)、有形文化財(歴史資料)	H.12.6.12～
庭野 政義	有形文化財(絵画、工芸品)	H.12.6.12～
宮沢 孝美	有形文化財(建造物)	H.14.6.12～
丸山 克巳	記念物(史跡)、有形文化財(書跡典籍、古文書、歴史資料)	H.14.6.12～
井上 信夫	記念物(動物、植物)	H.14.6.12～
川村 知行	仏教美術	H.17.4.1～
星名 寔	文化財一般・川西	H.17.4.1～
鈴木榮太郎	文化財一般、古文書・松代	H.17.4.1～
佐藤 喜一	文化財一般・松之山	H.17.4.1～
鈴木 茂	文化財一般・中里	H.17.4.1～H.19.3.31
村山 詔平	文化財一般・中里	H.19.4.1～

第20表 十日町市文化財保護審議会委員名簿

氏 名	担 当 地 域	備 考
丸山 克巳	十日町市(旧十日町市、旧中里村)、津南町	H.17.4.1～H.19.3.31
角山 誠一	十日町市(旧十日町市、旧中里村)、津南町	H.19.4.1～H.23.3.31
佐藤 定行	十日町市(旧松代町、旧松之山町、旧川西町)、柏崎市(旧高柳町)	H.17.4.1～H.22.3.31
柳 裕	十日町市(旧松代町、旧松之山町、旧川西町)、柏崎市(旧高柳町)	H.22.4.1～

第21表 新潟県文化財保護指導委員名簿(平成17年度以降)

■文化財課・博物館職員（平成 22 年度）

文化財課長	平野 勝	嘱託（調査研究員）	宮内 信雄
参事・課長補佐	長津 政勝	調査補助員	上野 洋子
副参事	水落 辰美	調査補助員	角山 誠一
係長（文化財主事）	石原 正敏	調査補助員	斎藤 浩俊
主査（文化財主事）	菅沼 亘	調査補助員	富澤 孝之
主査	太田 喜重	臨時職員	岡田 聡子 （～ 2.28）
主任（文化財主事）	笠井 洋祐	臨時職員	鈴木 えみ （3.1 ～ ）
主事	小市 知子		

十日町市教育委員会 文化財課年報 13

発行日／平成23年(2011)3月31日

編集・発行／十日町市教育委員会
文化財課

〒948-0072 新潟県十日町市西本町1丁目
十日町市博物館 内
十日町市教育委員会文化財課
TEL (025)757-5531
FAX (025)757-6998

印刷／旬みらい印刷